



Embassy  
of the Republic of Poland  
in Tokyo



2021年8月5日

駐日ポーランド共和国大使館、ポーランド広報文化センター

ニュースリリース

## 駐日ポーランド共和国大使館によるクリスツィナ・ツィマノウスカヤ選手への支援



2021年8月初め、ポーランド政府は、ベラルーシの陸上選手であるクリスツィナ・ツィマノウスカヤ氏への支援を決定しました。ツィマノウスカヤ氏は、自国コーチ陣の不手際を批判したことで、オリンピック代表から外され、強制的にベラルーシへ帰国させられるところでした。帰国後のベラルーシ政権による弾圧を恐れたツィマノウスカヤ氏は、8月1日（日）、日本の警察に保護を求めるとともに、駐日ポーランド共和国領事に電話し、ポーランドに即時に入国できるようポーランド政府に人道ビザの発給を求めました。

翌日8月2日（月）17時頃、ツィマノウスカヤ選手は駐日ポーランド共和国大使館に到着。人道ビザが発給され、保護されました。大使館滞在中、パヴェウ・ミレフスキ駐日ポーランド共和国大使がツィマノウスカヤ氏に面会し、ポーランド国家が可能な限りあらゆる方法で安全を保障し、国際

法に基づいた支援を行うことを約束しました。大使との会話の中で、ツィマノウスカヤ氏は心身ともに良好な状態であることを伝え、「救いの手を差し伸べてくださった全ての方々に感謝します」と述べました。

8月4日朝、クリスツィナ・ツィマノウスカヤ氏は、日本の警察に警護され、成田空港に到着しました。その先はポーランド共和国外交官2名が同行し、無事ポーランドに入国しました。全てのオペレーションが成功したのは、駐日ポーランド共和国大使館と日本国政府、とりわけ警察庁、警視庁、外務省との緊密な連携の賜物です。このたびのツィマノウスカヤ氏への支援は、戦略的パートナーシップで結ばれたポーランドと日本の協力が功を奏した好例になりました。

駐日ポーランド共和国大使館は、日本との連携のもとベラルーシの陸上選手を支援できたことを誇りに思います。自由と人権の尊重は、ポーランドの外交政策の礎であり続けてきました。クリスツィナ・ツィマノウスカヤ氏がポーランドに残るか否かは、自身の決断に委ねられています。ご家族とともに、ポーランドのヴィスワ川のほとりで、選手としてのキャリアを積みたいのであれば、私たちはそれを歓迎します。

「連帯」という言葉が、ポーランド人にとって経験上かけがえの無い意味を持つ以上、ポーランドは弾圧にさらされている人への支援を惜しみません。ベラルーシの人々は、必要な時にはいつでも、駐日ポーランド共和国大使館はもちろん、各地のポーランド共和国領事館および大使館を頼りにできることを知っているのです。

#### 駐日ポーランド共和国大使館

<https://www.gov.pl/web/japonia/ambasada-tokio.amb.sekretariat@msz.gov.pl>

Twitter: @PLinTokyo

Facebook: <https://www.facebook.com/Ambasada-RP-w-Tokio>

#### ポーランド広報文化センター

<https://instytutpolski.pl/tokyo/tokio@instytutpolski.pl>

Twitter: @PLInst\_Tokyo

Facebook: <https://www.facebook.com/InstytutPolskiTokio/>